

発行責任者：貝原吉男 豊能郡豊能町ときわ台 5-1-5 (TEL 072-738-1900)

参加者募集

誰でも気軽に出来る競技…！

「ペタンクの集い」の開催



皆さんお誘い合わせの上、体験に参加ください。

今年も標記「ペタンクの集い」を開催いたします。

ペタンクの発祥は南フランスの港町で生まれ、子供も大人も年齢に関係なく、どなたでもプレー出来ます。またルールも簡単、そして誰でも直ぐに、少しの場所で、気軽にプレーが出来て楽しめる球技です。

気持ちの良い青空の下であなたも始めませんか…。

下記要領で開催しますので、初めての方、また経験のある方、沢山の方に参加して頂きたくご案内致します。

ペタンクは鉄球（直径 70,5 mm～80 mm、重量 650 g～800 g の鉄、ステンレス）を目標のビュット（直径 3 cm の木製）の近くに集めて得点を取ります。

記

“ペタンクの集い”の開催要領は「広報 とよの」9月号にも掲載します

日 時 9月30日（日） 9時30分～11時30分

雨天等で順延の場合は10月3日（水） 時間は同じで開催します

場 所 ふれあい広場

用 具 ペタンク球等は同好会で準備します

運動し易い服装で参加下さい

参加費 無料（スポーツ傷害保険は主催者側で加入）

申込期限 9月9日（日） です

コート設定、ペタンク球その他準備の都合上、期限までに申し込みください

申込み先 竹田（738—2174）まで

主 催 大阪府高齢者大学同窓会豊能

豊能ペタンク同好会

★：参 考 同好会「ペタンククラブ」の練習日と場所
練習予定日 : 毎週 日、水、金曜日
時 間 : 9時30分から行っています。
場 所 : ふれあい広場
問い合わせ 竹田登喜勇（072-738-2174）



醒ヶ井“梅花藻”を見て来ました

25期 中島紀子

7月31日 ときわ台駅、光風台駅に集合して、JR川西池田駅にて川西組と合流 総勢10名
川西池田9時30分発で出発、尼崎で新快速に乗り換え、米原まで。青春きっぷの利用は、乗継をいかに効率よくして目的地に着くかです。目的地の醒ヶ井に下車するも、そこで少しトラブル発生。女性3人が乗り越し、次の駅から折り返し帰って来て無事合流。ロスタイム40分。貴重な時間をつぶして、平謝り。

丁度お昼時、お楽しみのお昼ご飯ですが、何せ小さな町、お店も少なく、電車が着くとお客も一時になるので、すぐに満席になり、私達も全員座ることが出来ず、待つことしばし。女将さん一人で、ご当地料理、ます寿司、ます井と作ってくれる。どれも美味しく、満足して出発したものの、外はガラガラと太陽が照りつけ、雲一つない青空、恨めしい……

少し行くと清流(地蔵川)があり、豊富な水の流れに梅花藻、小さな花が群れて咲いていました。木陰あり、風も水音も、涼しくてさわやかなこと、暑さを忘れるくらいでした。

次に、柏原(かしわばら)宿に行く。午後の地面からの照り返し、汗がほとばしるような暑さ、ただただカキ氷が食べたい、何処かないかと探しながら歩くうちに歴史館に到着した。でも時間の都合で入館をあきらめることになった。やっとカキ氷店を見つけたので、せめてカキ氷でもと思うも、次の電車の時間を考えるとこれもダメ。時間を遅らせてはと言う声もありましたが、それもあきらめて、予定通りの電車に乗ることにしました。



柏原宿は、町並みが整備されていて、家々には、昔の屋号が標示され、中仙道の宿場町の賑わいを感じられました。一か所お店が開いていて、この地域の特産物、伊吹もぐさを作っている店「伊吹堂」に入りました。昔ながらの店構え、家族で作業をされていたのを感じました。もぐさ、よもぎの入浴剤、香りが良くおみやげに買いました。季節が良ければ、もっとゆっくり楽しめたのではないかと思います。

予定通りに、無事JR川西池田駅にて、解散。

幹事さん暑い中、案内していただきありがとうございました。



昔の屋号 : 医師年寄
: 堤 〇之丞
と標示してありました



漫画プレゼントジュズつなぎ日本一周旅行 (8)

— 東北編 —

N1期 南田慶治

行ってきました東北へ。震災後、一度は行ってみたいと思っていたのが実現しました。期間は7月1日から7日まで。台風7号の影響で飛行機の欠航があるかもしれない不安を抱えての出発でした。ところが雨には遭いましたが幸運にも旅程に影響を受けることはありませんでした。

しかし関西地方の50年に一度の豪雨のニュースを聞き、心配しながらの旅となりましたが、無事終えることができました。

7月1日(日) 15時に大阪を出発。名古屋港(19:00時)発のフェリーで仙台に向かう。

船内で夕食をとり、就寝する。

— まんがプレゼント数 10冊

7月2日(火) 夕方(16:40)仙台港に到着し予約してある宿舎に行きチェックイン。食事を摂りに仙台の街に出る。仙台は上品な大都会で都市機能を備えつつガチャガチャしていない印象でした。明日がこの旅の最大の訪問予定地、すなわち2013年に発生した東北大震災の被災地である石巻、女川、南三陸、気仙沼、陸前高田、大船渡、釜石、大船渡を回り、メンバーの交代をする三沢空港がある八戸まで行くスケジュールですので相当移動することを考えて今夜は体を休めておこう。

—— まんがプレゼント数 6冊

7月3日(水) 早速、石巻から始め女川、南三陸と回って行く。印象は行く前に想像していた風景と実際に見た風景が半分は想像通りで半分は違っていました。行く前は津波を避けるため高台に住宅地が造られていると思っていましたが、どこの地区も高台に住宅地は造成されてはいましたが土地が狭く、むしろ元の家があった場所に新築されているのを数多く見ました。(ただし実際には石巻に避難住宅がありますがそこに行く時間を取るべきでした。)津波は大丈夫だろうか心配しましたが、高台の所より元の低い土地で復興されておられる方がはるかに多かったのです。

高台に移るのは全体の意見があり、なかなか決まらないのでいつまでも避難所におられず、仕方なく元の土地を選ばれたのかも知れませんが、確かに防波堤を高くする工事はあちこちで行われていましたが、津波がそれを越えればと思うと心配です。そしてまだ避難所があるかとも思っていたのですが、そこへは時間を作っていくべきでした。また、空き地も多く戻って来れない方も多いのでしょうか。どこの被災地もダンプカー等の工事車両が多く通行していたのも印象的でした。

午前中は石巻、女川町、南三陸を回りました。南三陸町にはチリ政府から本物の「モアイ像」が贈られていました。

午後から陸前高田、釜石と行きましたが他の所は時間がなく行けませんでした。

陸前高田の「奇跡の一本松」には勇気付けられました。

そして夜9時ごろ八戸に到着しました。東北は広がったです。

— まんがプレゼント数 44冊



7月4日(木) 今日は三沢空港でメンバーの交代の日です。新メンバー(K氏)を迎えてむつ市へ移動し民宿泊。

— まんがプレゼント数 13冊

7月5日(金) 恐山に行く日です。東北に来たら行きたいところです。大雨にならないかと天気予報を気にして寝ました。当日、雨は降っていましたがひどくはなく安心しました。やはり山ですから雨や寒さには気を使いました。この山は22才の時に来ているので何十年ぶりでした。大変体力を使うかなとも思いましたがそうでもなく、お供えしようと思っていた本2冊・マンガ・絵本・CD等を献上することができたことはうれしい事でした。



2時間ぐらいで下山し目的を果せてホッとしました。その後はフェリーに乗るため、仙台に向かい夕方着。

— まんがプレゼント数 15冊

7月6日(土) 12:50 仙台港発 フェリーに乗り宿泊。

7月7日(日) 10:30 名古屋港着

名古屋でモーニングを食べたあと車で大阪へ帰りました。15:30着

— まんがプレゼント数 7冊

東北まんがプレゼント総数 100冊
想像以上の出来でした。

[感想文] 近藤

7月4日(水) 13:30、雨の中、三沢空港に到着。

南田さんと合流。車でむつ市へ向かう。人口が少ないせいか、道の駅が全く無くマンガのプレゼントをする機会がなかなかありません。途中、飲み物を買いにお店に寄った時に、お店へプレゼントしただけでした。

夜はむつ市内の民宿へ泊りました。夜も雨が降っていました。民宿の方へもプレゼント。

7月5日(木) 昨日からの雨が引き続き降っていました。この日は、恐山へ行きました。

ここは千二百年も前に、慈覚大師円仁によって開かれた霊場です。山道を30分程車で走りました。途中で思う事は、こんな山深いと昔は行くのに苦労しただろうと、思ってしまいます。

TVや写真では恐山を見たことありましたが、実際に目の当たりにすると、温泉の硫黄の匂いもあり、荒涼とした景色に驚きます。雨の中お寺を参拝し、広い境内にある三途の川を散策しました。雨の影響か、参拝の人はそれ程多くありませんでした。冬は雪の為、道路は通行止めになるとの事、陸の孤島です。冬はここで越冬と言う事でしょう。

参拝後は、車は仙台に向かって出発です。途中道の駅横浜で昼食を取りました。店の方へマンガプレゼントできました。

18時過ぎ宿泊予定のホテルに到着。雨も小雨程度になっていました。

7月6日(金) ホテルへもマンガプレゼントできました。10時半頃ホテルを出発。フェリー乗り場へ向かいました。12時50分発名古屋行きに乗船。船内には、被災地へ向かう自衛

隊員が大勢乗船していました。

約20時間の船旅です。船内では、ピアノの演奏、楊琴とピアノの演奏等があったりして楽しませてくれました。途中、TVニュースが西日本の豪雨被害を知らせていましたので、大阪の状況が心配でした。

7月7日(土) 10時前に名古屋港に到着。大阪まで雨はそれ程強くなく、連日の雨でしたが、無事終了しました。

南 田

各地へ漫画プレゼント旅行に行きますけれど、いつも思いますことは行って見てわかることが多いということです。行く前はその地方はこうではないかと思っている訳ですが、実際に現地を見ると想像していたのと違うことをよく目にする訳です。

今回もそうでした。前にも書きましたが、東北地方の震災による被害の状況で想像していたことと大きく違っていたのは

- ・まだ避難場所があるのではないかと考えていましたが、まずその場所を調べてから行くべきでした。事前調べの必要性を痛感いたしました。
- ・次に避難地区としてほとんどの方々が高台で暮らし始められていると思っていましたが、高台に住宅地はありますが多くの人々が住める程の広さはなく、少しの場所しかありませんでした。元々の自分の土地(低地)に新築の家々が建っている風景をいろんな市・町で見ました。街全部の引っ越しはいろいろな意見が出て、決まるのに時間がかかり待たられないから、津波の危険もあるが低地でもしょうがなく新築の家ができていないかと思えます。

東北の大災害を教訓にした行政指導と地元の協力を求めます。

- ・女川町の海産物店でマンガのプレゼントをした時に買った商品の代金を受け取らず、交換にプレゼントして下さり驚きました。プレゼント旅行の中で初めてのことでした。女川町の心はホットでした。

青森県の恐山に行き思いましたことは、東北地方の人々は他の地方より見えない世界の意識を忘れずに生活しているのかなと言うことです。

山形県には即身仏(ミイラ)になり人々の幸せ願う山岳信仰や岩手県には遠野物語の様な文化伝承の考えがあります。

全体的に考えて他の地域よりも、表面的な生活の中に違うものも根づいていると思いました。昔から生活のキビシサがあったからかも知れません。



ちょっと一服



節電と 熱中症の 夏狭間

土用丑 一人前を 分けて食べ

お願いだ 怠けてほしい 夏の草



(ぼやき川柳アワーより)

「あなたはペット派なんだ」

飼いだめたばかりの子犬を散歩させていたら、知人に声をかけられた。子育てが一段落した専業主婦は、ペットを飼うか仕事に出るかどちらかだと言った。それ以外にも趣味や学びにと自分磨きを始める人もいるだろう。アラフォー主婦は確かに人生の節目にいた。

「ママ」と甘えた声を出していた息子は、いつの間にか母親の背を追い越し、頭上から低い声で「おかん」と呼ぶようになった。干渉を嫌い、身体から発する匂いは異性のものとなり、女親を戸惑わせた。大人へのパスポートはどんなものが手に入るのか、その不安と苛立ちの思春期真っ只中にいた。

働き盛りの夫もまた、時間やエネルギーのほとんどを仕事に費やしていた。家庭ではごろ寝とテレビ守り以外の姿を見せることは稀になり、会話は単語で済ませるようになった。子どもが手を離れた安堵感。と同時に必要とされなくなった空虚感。夫の世界には立ち入れない疎外感。その隙間を埋める何かを求めていたのは事実だった。

それにしてもあの時はショックだった。ちょうど四十歳を過ぎた頃だったと記憶している。デパートのピカピカに磨かれた、洗面台の鏡に映った自分の顔を見て、思わず「うそ！」と叫んでいた。そこには紛うことのない中年小母さんの顔があったからだ。世間一般の感覚から言えば四十代はもう小母さんに違いない。だが子育てに追われてきた三十代は、自分の顔をまじまじと眺める余裕などなかった。我が家の薄暗い場所の薄汚れた鏡は、真実の姿を映し出すこともしなかった。二十代の面差しはそのままでと、信じることをずっと許してくれていたのだ。

四十肩に四十暗がり……四十の坂を超えるのに身体が喘ぎだした。気恥しくも産婦人科病院に行くと、産科よりも婦人科の受診者が多く安堵したものだ。思いがけなく知り合いに出会うこともあった。

「夫がただのなまけ病だと、このしんどさを分かってくれない」と友人は嘆いた。それはもう若くはないという身体からのメッセージ。更年期障害と似た症状を、「まさかこの歳で更年期というのは可哀そう過ぎるから、中年期障害ということにしよう」と、仲間内ではそう言って慰め合

っていた。

若さからも老いからも中途半端に距離感がある四十歳は、不惑の歳と言われるが、今振り返ってみれば、むしろ惑い満載の時だったように思う。

子どもが中学校の同級生だった親仲間八人で、パッチワークを始めたのはちょうどその頃だった。私たちはチクチクと針を動かしながら口もせつせと動かしだした。ある時、ひとりが言った。

「息子がね、苛立って鉄拳で壁に穴をあけたのよ。それを隠すタペストリーを急いで作りたいんだけど」

一瞬の沈黙のあと、誰かもぼそつと言った。

「うちにも息子があけた穴がある」
思いがけない展開だった。その後も「実は我が家も」と、男の子を持つほぼ全員の告白が続いたのである。楚々とした人も、この時ばかりはと得意げに参戦した。

「うちは私があけたの。息子の言いぐさがあまりに生意気で腹が立って、持っていた掃除機を振り回したら、それがドアに当たって穴があいてしまったのよ」

「分かる、分かる」と言い合うことで一体感が生まれる。主婦の小さなソサエティでは「何処の家も似たり寄ったり」という安心感が一番欲しいのだ。俄然やる気になった皆が、猛スピードでタペストリーを仕上げたのは言うまでもない。

我が家にももちろん息子の狼藉の跡がある。それも二か所。ドアの穴はすぐに修理をしたが、階段の踊り場の、衝撃に弱い石膏ボードの壁には、今も見事にくりぬかれた足型がある。その時高校生だった息子に私は言ったはずだ。

「これは出世払いだからね」と。

タペストリーは、色褪せた今も役目を終えさせてもらってはいない。いつの間にか中年期にさしかかった息子だが、まだ出世したという実感がないのだろうか……



[地域交流活動]

《9月の予定》

同好会	活動日	場 所	内 容
ひまわり会	9月3日(月)	祥雲館	歌体操
	9月7日(金)	すみれ	〃
	9月8日(土)	ふれあいのつどいに出演	〃
	9月25日(火)	たんぽぽの家	〃

今後の行事

同好会活動のお知らせもご覧ください。

開 催 日	行 事 名	場 所	備 考
9月8日(土)	ふれあいのつどい	吉川中学校	
9月12日(水)	ONCC 地域交流会 (豊能・箕面・池田在住の受 講生の交流会)	池田市民文化会館	講演:福井栄一氏と 歌声喫茶・歌体操
9月30日(日)	ペタンの集い	ふれあい広場	本紙1ページ参照
10月23日(火)	同窓会豊能「秋のグラウンド ゴルフ大会」	ふれあい広場	予備日25日(木) 詳細は10月号でご 案内します
10月29日(月)	第1回れんきょうスポーツ 交流ペタン大会	箕面市立第2総合運 動場	8月号参照くださ い

同好会活動9月作品

[手作り玩具の会]

まゆ玉とコロコロスロープ

9月17日(月・祝)

西公民館 会費 100円

連絡 正木(738-2896)



吉川の田圃の貴婦人(案山子)2体
台風にも負けず頑張ってくださいました。
おかげさまで今年も豊作のようです。

読者投稿 K氏

同好会活動のお知らせ

(お問い合わせは各代表者へ)

同好会名	代表者 TEL	場 所	実施日		時 間	備 考
			9月	10月		
手作り玩具の会	正木國博 738-2896	西公民館 木工室	17(月)	15(月)	9:30 ～ 11:30	9月作品：まゆ玉とコロコロスロープ
囲碁の会	香川忠輝 738-1073	西公民館	3(月) 木工室 21(金) 美術室	1(月) 木工室 19(金) 美術室	12:30 ～ 17:00	実りの秋に向かって、頭の体操=囲碁をご一緒に楽しみましょう。 気軽に覗いてみてください。どなたでも大歓迎です。
歴史の会	古寺忠夫 738-6069	備考欄の 通り	21(金)	19(金)	13:00 ～ 16:00	9月はまだ暑いので室内で勉強会をします。 13時からサロン「鈴」にて。 豊能町ゆかりの人物「開成皇子」-法輪寺他 4寺との関係をいたします。
パソコン・デジカメクラブ	中村 亨 738-3021	西公民館 視聴覚室	13(木)	11(木)	18:00 ～ 21:00	それぞれのレベルに合わせ懇切丁寧に指導。 画像教室を始めました!
彩りの会	今井絹代 738-2043	西公民館	21(金)	19(金)	9:30 ～ 12:00	それぞれの作品に取り組みます。 各自の準備をお願いします。
ひまわり会 (歌体操)	田中久美子 734-1705	西公民館	19(水)	17(水)	10:00 ～ 12:00	「ふれあいのつどい」に出演します。 温かいご声援よろしくお願ひいたします。
とよのうたう会	平田敦子 738-7547	「かりな」 コープ新光 風台店内	27(木)	25(木)	17:30 ～ 20:30	「支所前17:09発」の新光風台循環バスで 「シートス前」下車。徒歩1分。新曲派、 懐メロ派大歓迎。
豊能語り部の会	谷 啓子 737-0303	西公民館	12(水)	10(水)	13:00 ～ 16:00	8月に練習したプリント共に、9月から始めたい内容があれば持って来て下さい。
ペタンククラブ	竹田登喜勇 738-2174	ふれあい 広場	毎週 日・水・金	毎週 日・水・金	9:30 ～ 11:30	9月30日(日)はペタンクの集いです。 フランス生まれのおしゃれな競技スポーツ、 ペタンクは子供も大人も年齢に関係なく、 気持ち良い青空の下で、あなたも始めませんか? 運動しやすい服装で!! ペタンク球はクラブで準備します。体験されるときは竹田まで連絡ください。
G・Gクラブ	藤原忠嗣 738-2358	ふれあい 広場	13(木) 27(木)	11(木) 25(木)	13:00 ～ 15:00	初めての方、一緒にプレーしませんか。 道具は当方で用意します。

編集後記

危険な暑さを何とか頑張りました。お変わりないこと
と思います。まだまだ残暑が続きます。くれぐれもご
自愛ください。

涼風を待ちながら9月号お届けします。



9月の花 女郎花

原稿は土井一実 メールアドレス dok.riki@iris.eonet.ne.jp

☎・Fax 738-2376 又は、お近くの地区幹事までご連絡ください。